

演題：多数歯欠損の補綴設計を考慮中の 1 症例

演者：高田宗秀

日付：2014年3月25日

Keyword

- 1 Eichiner B3 欠損
- 2 自家歯牙移植
- 3 補綴設計

初診日：2013年3月19日 34歳 女性

主訴：咀嚼審美障害

10 数年前に 20 代の若さで交通事故に遭い、前・臼歯を含む多数歯を喪失し、上下顎骨骨折、顔面裂傷を負う。数年間に及ぶ前医での治療では、咀嚼・審美の点で満足いく結果が得られず長年悩んでいた。セカンドオピニオンを求めて当院を受診されたので、通法に従い基礎資料収集後、患者の要望を把握し、コンサルテーションを行った。患者の同意を得たうえで、現在、プロビジョナルステージを経て最終補綴の段階であるが、補綴設計に迷いがあり、相談症例とさせていただきます。

全顎治療を行う上で、診査・診断が甘く、反省点多い症例ですが、諸先生方より、ご指摘、ご指導いただければ幸いです。